



DxO PhotoLab

リリースノート

バージョン 2.1.2

Mac

必要構成

- Intel Core™ i5 またはそれ以上奨励
- メモリ要件 (RAM) : 4 GB (6 GB 奨励)
- 空きディスク容量 : 2 GB (6 GB 奨励)
- OS X 10.12 (Sierra), 10.13 (High Sierra), 10.14 (Mojave)
- GPU 高速処理のサポートには、512 MB のビデオメモリが必要

###

DxO PhotoLab 2.1.2 の新機能

- **ホワイトバランス:** 色温度と色相の設定パラメータがデフォルトで表示されるようになりました。
- **バグ修正:**
 - ソフトウェアの前バージョンからのデータベース移行の問題
 - OS X 10.14 (Mojave)上の写真アプリケーションへのエクスポート不可
 - OS X 10.12 (Sierra)上でアプリケーション終了時のアプリケーションのクラッシュ
 - プリセットのプレビュー速度の遅さ
 - ヘルプページとリソースへの一部のリンクの不機能
 - マイナーなバグ

###

DxO PhotoLab 2.1.1 の新機能

- **バグの修正:**
 - 一部のケースにおけるアプリケーションのクラッシュ
 - 一部のファイル形式に関連した互換性の問題
 - マイナーなバグ修正

###

DxO PhotoLab 2.1 の新機能

- **フォルダのインデックス付け:** PhotoLab に対して、解析し情報を保存する画像フォルダを指定することが可能。また、これはサブフォルダまで対象。
- **3機種のカメラのサポート追加:**
 - Nikon Z7
 - DJI Mavic 2 PRO
 - FujiFilm X-A5
- **アプリケーションのパフォーマンスと安定性の向上**
- **バグ修正:**
 - Nikon D200 のホワイトバランスに関する不具合を修正
 - Panasonic 製カメラのハイレゾモードで撮影した RAW 画像の現像に関する不具合を修正
 - マイナーなバグ修正

###

DxO PhotoLabの機能

- **RAW と JPEG 画像の高画質な仕上がりをワンクリックで実現できます。** DxO PhotoLab 2 は、インテリジェントな自動補正を実現する総合的なソリューションです。もちろん、手動で調整することもできます。
- **DxO フォトテック**では、これまでにないやり方で写真を検索、ソート、整理できます。
- **DxO Clearview Plus**では、強いハロー効果を生じさせることなく白いモヤを効果的に除去して部分的なコントラストをスマートに強調し、写真の仕上がりの可能性を広げます。
- **DxO Smart Lighting**では、写真のダイナミックレンジを最適化し、露光アンダー/露光オーバーの領域のディテールを回復できます。
- **DxO P.R.I.M.E.**では、当社独自のアルゴリズムを使い、ディテールや鮮やかなカラーはそのままに、高感度 RAW 画像のノイズを自動的に除去できます。
- **U-POINT®テクノロジー**を活用した**部分調整の総合的なソリューション**：ブラシ、段階フィルター、コントロールポイントを使って、簡単にパワフルに写真を部分的に編集することができます。

- **歪み補正と光学シャープネス補正** : 測光とキャリブレーションにおける DxO の評価の高い専門性を活用した補正で、お使いのカメラで撮影された画像の最高のディテールを引き出すことができます。
- **可能性がさらに広がったカラー管理** : ICC プロファイルに加え、DCP カラープロファイルがサポートされたことで、忠実にカラーを再現できます。

既知の制約事項

- パース歪み補正ツールとボリューム歪像補正ツールを使用するには、DxO ViewPoint プラグインが必要です。
- データ量を削減する圧縮方式 (Lossy DNG) を使った DNG 形式のファイルは、サポートされていません。
- Adobe Lightroom または Adobe DNG Converter 以外の圧縮媒体で作成された DNG ファイルのサポートに関しては、いかなる保証も与えられていません。サポート対象外のカメラに対応した DNG ファイル (変換で作成されたか否かにかかわらず) はサポートされていません。